

三鷹の森学園 三鷹市立第三中学校

第2回進路説明会資料

令和4年10月17日（月）



本日お話ししたことおよび本資料の内容について、またその他のことについてご質問等がありましたら、こちらのリンク先から入力、送信してお知らせください。『進路だより』誌上で、またはメールやお電話等で個別に、回答させていただきます（回答方法についてご希望をお伺いする項目もあります）。



目 次

| | |
|-----------------------|-------|
| 1. 進路を選択するにあたって | P 3 |
| 2. 都立高校の入学者選抜について | P 6 |
| 3. 私立高校の入学者選抜について | P 1 6 |
| 4. 特別支援学校高等部について | P 2 1 |
| 5. 都立高校・私立高校以外の進路について | P 2 3 |
| 6. これからの予定と手続き | P 2 4 |
| 7. 保護者の皆様へのお願い | P 2 7 |
| 資料①「調査書」 | P 2 8 |
| 資料②「自己 PR カード」 | P 2 9 |
| 資料③「都立入試選抜「総合得点」の出し方」 | P 3 0 |

※ 別紙「第三中学校 進路決定までのスケジュール（令和5年度）」

1 進路を選択するにあたって

とうとうお子さんたちは、中学校最後の一年間の「折り返し地点」をも過ぎました。進路決定時期を都立高校の合格発表とするならば、そこまではあと18週間しかありません。また、そこまでに少なくとも私立高校の受験校を決定していなければならない11月末の第3回三者面談までは、あとわずか6週間です。ご家族での話し合いは進んでいますでしょうか。来週24日から始まる第2回三者面談では、ひと家庭20分程度しか時間が取れません。その中で、「どの学校を、どのようなシステムを利用して受験をしていくのか」をできるだけ具体的にお伺いしなくてははいけません。保護者の方はもちろん、生徒本人からもそのあたりが説明できるようにしておいてください。本日の進路説明会の内容を参考にさせていただいて、ご不明点があれば今後いつでもご相談ください。

《1》志望校選びのポイントの確認

① 上級学校（高校など）卒業後のことを考えて、受験校を選んでいきますか

受験勉強をするうちに「高校に入学すること」がゴールになってしまう生徒もいます。本人たちにとってはそれも仕方のないこととも言えますが、そのような場合は、入学後の学校生活や、上級学校卒業後の進路など、もう少し先を見るように保護者の方からアドバイスをしてあげてください。

② そろそろ成績「も」考えて志望校を選びましょう

夏の面談から3か月が経ちます。多くの生徒は会場テスト(模試)の結果や、説明会で聞いてきたお話、市販の「受験案内」等からどの程度の学力があればその学校に合格できそうかということも把握し始めています。しかし、高校側が求める学力と自分の実力とに大きな開きがある高校を志望校としている生徒も多くいるように思います。目標を高くもつのはよいことですが、目標が高ければ高いほど、自分の実力に見合った「第2志望」の学校をしっかりと選んでおくことが必要になります。最終的に第2志望、第3志望の学校に入学する生徒は例年たくさんいます。第2志望の候補が挙がったら必ず訪問し、自分の目で見てその学校の雰囲気確かめさせてくれることが大切です。

③ 成績「だけ」、名前「だけ」で選んでしまっていないか

「この成績ならこの学校」、「ひとつでもレベルが上の学校」などと成績だけで学校を選ぼうとしたり、「〇〇高校といえば名門」、「△△高校って聞いたことがない」など高校の名前のイメージで判断したりするケースもあります。「苦勞して入ったのは良いけれど、勉強のスピードが速くてついていけない」とか、「成績面で妥協して専門学科にしたけれど、自分の学びたいことではなかった」などの理由で高校生活が続けられなくなってしまう卒業生は毎年のようにいます。反対に、学力的に余裕のある学校に入学し、そこで学業で十分に成果をあげながら、部活動も楽しみ、おおいに充実した学校生活を送っている卒業生もいます。お子さんが志望している学校は一体どのような学校なのか、あらゆる角度から検討させてみるのが大切です。

④ お金のことについても具体的に考えてみてください

少し前までは学費が安いから都立高校へと本人やご家族が考えることは一般的でしたが、「私立高等学校等授業料軽減助成金」などの各種助成金によって、私立／都立の負担額の差は小さくなりました。また、

「特待生制度」がある私立高校で特待生等になることができれば、都立高校よりも学費が少なくなる場合もあるでしょう。そうしたことから第一志望を都立高校から私立高校にするご家庭も一時期に比べて多くなっています（実際都立高校の倍率は少しずつ下がっています）。とはいえ、私立高校は授業料以外の学費も多くかかることが多いですから、第一志望／第二志望に関わらず、「入学してからの一年間にどのくらいの学費がかかるのか」を具体的に試算しておく必要があります。

《2》実際に受験する学校の決め方

① お子さんが行きたい！と思う学校のイメージを具体化させる

- 【例】
- ・通学時間はどのくらいまでを目安にするのか？（片道30分？1時間？）
 - ・交通手段は？（自転車？バス？電車？ 電車を利用するなら上り？下り？）
 - ・公立と私立のどちらに行きたい？（男子校・女子校・共学校？）
 - ・どんな校風の学校が向いている？（落ち着いている？活発？自由？ある程度校則アリ？）
 - ・卒業後の進路は？（大学進学を目指す？ 専門的に学んだことを生かして就職？）
 - ・どのようなスタイルで学びたいか？（全日制？ 定時制？ 通信制？）

- 条件に合う学校を市販の「受験案内」や学校にあるパンフレットなどの資料、各校のホームページなどより探し出しましょう（4～6校程度選び出せるとよいです）。

② 受験したい学校をしぼる

- 具体的な学校名が出てきたら親子で見学に行きましょう。都立高校も私立高校も、10月～11月に多く説明会があります。
- 「実際に3年間毎日通いきれるのか」「本人に校風が合っていそうか」などを一緒に話しながら、受験する学校をしぼっていきましょう。
- 受験は一発勝負。試験当日に体調が悪く十分な力が発揮できないということも考えられます。現時点で受験するかどうかは置いておいて、お子さんが確実に合格しそうな学校は必ず見つけておくことが大切です。できれば「併願受験」ができる私立高校を選びましょう。

③ どの学校を受験するのか決める、複数受ける場合は組み合わせ方を考える

【受験の基本的なパターンの例】 おおまかな組み合わせです。下記以外のパターンもご相談ください。

| パターン | 内 容 | |
|---------------|-------------|------------------|
| パターンA 都立のみ | 第1：都立（推薦） | 第2：都立（一般・分割前/後期） |
| パターンB ①都立 ②私立 | 第1：都立（一般） | 第2：私立（併願優遇） |
| パターンC 私立のみ | 第1：私立（推薦） | |
| パターンD 私立のみ | 第1：私立（第一志望） | 第2：私立（併願優遇） |
| パターンE ①私立 ②都立 | 第1：私立（一般） | 第2：都立（一般・分割前/後期） |

- 「併願受験校」または「確実に合格できそうな学校」を含め、「相応校」や「挑戦校」を選ぶのが理想的です。
- 都立高校は推薦・一般各1校しか受けられません。
- 都内の私立高校は一般入試日が3日間に集中しています（2月10日～12日）。「併願受験」も一般受験の一区分です。1日に1校しか受けられないので、私立高校の一般受験を2校以上受験することを考えている場合は、試験日をよく調べて組み合わせを考えてください。

《3》受験のおおまかなスケジュール

| | ご家庭 中学校 | 私立高校 | 都立高校 | 国立高校 | 高等専門 学校 | サポート校 高等専修学校 | | | |
|-----|---|--|-----------------------------------|------|------------|-----------------|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|
| 10月 | 進路希望調査④ 10/19まで 三者面談② 10/24～28 | 学校説明会等 (予約がすぐに埋まります!) | | | | | | | |
| 11月 | 進路希望調査⑤ 11/21まで 筆記テスト 11/27 三者面談③ 11/29～12/5 | | | | | | | | |
| 12月 | 入試相談12/15～(推薦・併願) | 学校によって入試日程やシステムが様々です。希望があれば早めにご相談ください。 | | | | | | | |
| 1月 | 面接練習(希望者) | | | | | | 私立推薦入試 1/22ごろ | 都立推薦入試 1/26-27 | 各校で入試日程やシステムが違います。早めにご相談ください。 |
| 2月 | 各入試への出願準備・受験・入学手続き | | | | | | 私立一般入試 2/10-12ごろ ※東京の場合 | 都立一般/前期 2/21 | 国立入試 2/13 |
| 3月 | | 私立 募集人員に満た なかった学校の 二次募集 (随時) | 都立二次/後期 3/9 都立定時制二次 3/27 | | | | | | |

2 都立高校の入学選抜について

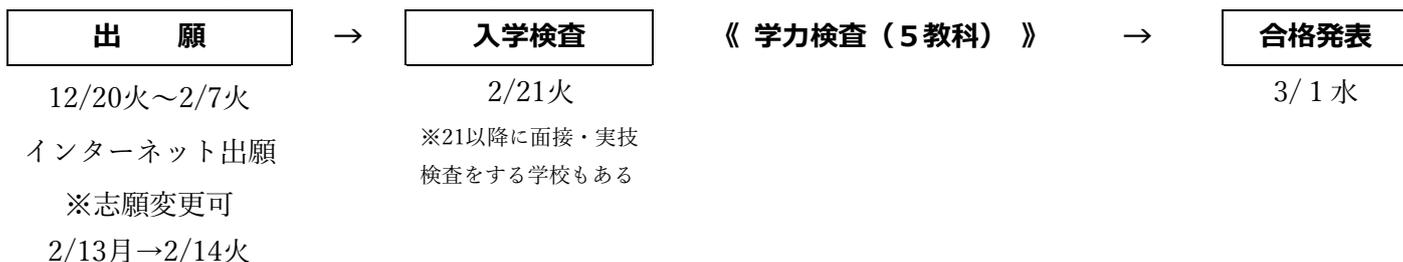
都立高校の入学選抜の詳しい内容については、『令和5年度東京都立高等学校募集案内』をご覧ください。後日配布予定の冊子です。1学期に配布した『令和5年度東京都立学校に入学を希望するみなさんへ』も合わせてご覧ください。

《1》都立高校入試の種類とスケジュール

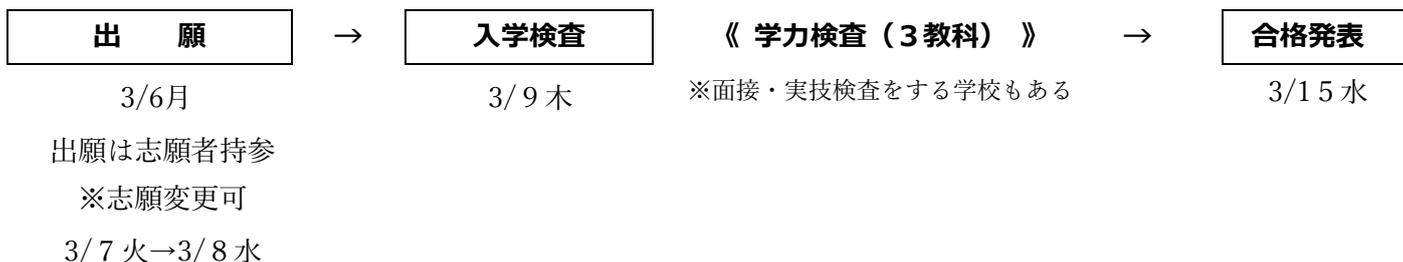
●推薦入試



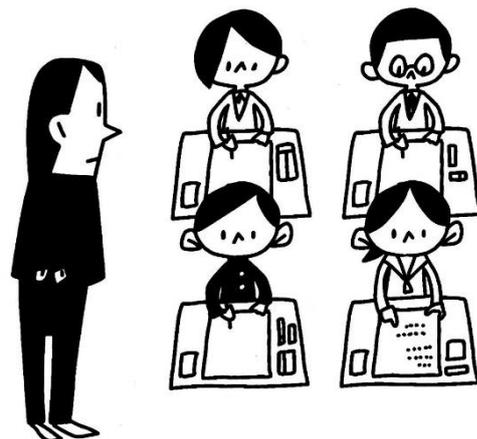
●第1次募集・分割前期募集



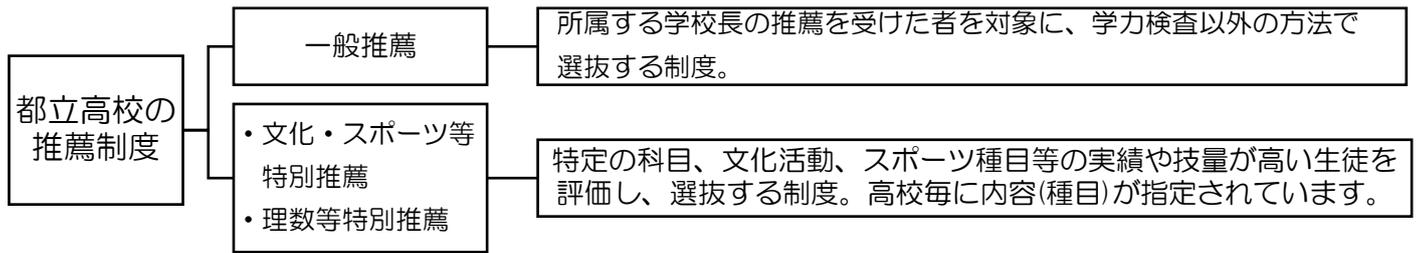
●第2次募集・分割後期募集



※他道府県の公立高校を受ける場合は、すぐにご相談ください。入試の方法や必要書類はそれぞれの校種や学校によって異なります。11月～12月頃に県外からの受検者向けの説明会が行われることもあります。中学校も情報を入手する必要があるので、進路希望調査に記入するなどして、10月24日からの進路面談までにそのことについて文書で担任に提出してください。



《2》推薦に基づく選抜（一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦）・・・いわゆる「推薦受検」



① 応募資格

「次の i～iii までのすべてを満たし、志望する都立高校を第一志望とするもの」とされています。

第一志望ですので、合格したら必ず入学することとなります。推薦の場合、合格発表後の辞退および他校（公私立）への出願・受験はできません。

- i 令和3年12月31日現在、都内の中学校に在籍し、令和4年3月に都内中学校を卒業する見込みの者。
- ii 在学している中学校長の推薦を受けた者。
- iii 都内に保護者と同居している者で、令和3年12月31日現在、都内に住所を有し、それ以降も都内に住所を有し、かつ入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

② 実施校

全日制普通科のほとんどの学校、普通科のコース制、専門学科、総合学科、単位制など。

③ 推薦枠

募集人員に対する割合が各高校で異なります。

【普通科・普通教育の単位制・進学重視型単位制・理数（立川）】…………… 上限20%

【専門学科・新しいタイプの高校】… 上限50%（30%、40%が多い）

④ 推薦基準

I 一般推薦 …… 三鷹三中の推薦基準に適合し、学校長の推薦を受けた者

II 文化・スポーツ等特別推薦 …… 各高校が示す基準を満たし、学校長が認めた者

III 特別推薦[理数]…… 昨年度より開始。現在は立川高校のみ

※令和5年度の文化・スポーツ等特別推薦実施校は後日配布する『募集案内』でご確認ください。

⑤ 出願

- I 日時 令和4年12月20日(火)～令和5年1月18日(水)にインターネット入力
→令和5年1月12日(木)～18日(水)までに書類提出(中学校が行います)

※「インターネットでの志願者情報の登録」が12/20～とされていますが、その段階で各高校への出願ができるのかどうかは通知を待っているところです。個人情報の登録開始(12月)→各高校への推薦入試出願処理開始(1月)と、2段階を踏む可能性もあります(追ってお知らせします)。

II 出願手続き

都立高校に提出する調査書、推薦書は原則中学校が用意します(高等学校所定の様式を除く)。
文化・スポーツ等特別推薦は一般推薦と同時に申し込めますが、立川高校の特別推薦[理数]については一般推薦と同時に申し込めません。

<一般推薦>

- ア) 推薦書(一般) …… 中学校が作成、郵送
イ) 出願申請 …… 各自でインターネット入力
ウ) 調査書 …… 中学校が作成、郵送
エ) 自己PRカード …… 各自で記入または入力(原則、中学校で用紙配布、(中学校が郵送))
オ) 入学検査料 …… 2,200円

※ 出願サイト上で決済または所定の納付書(中学校で配布)により、納付書裏面に記載された金融機関で納入します(→領収証書をアップロード)。

<文化・スポーツ等特別推薦 特別推薦[理数]>

- ア) 特別推薦書…中学校が作成
※文化・スポーツ等特別推薦は、所定の様式で推薦書を第三中学校が作成します。特別推薦[理数]のみ高校所定の様式となります。
イ) 出願申請 …… 各自でインターネット入力
ウ) 調査書 …… 中学校が作成、郵送
エ) 自己PRカード …… 各自で記入または入力(原則、中学校で用紙配布、郵送)
※一般推薦を同時に志願する生徒は1部のみ提出で良いことになっています。
オ) 入学検査料 …… 2,200円

※ 出願サイト上で決済または所定の納付書(中学校で配布)により、納付書裏面に記載された金融機関で納入します(→領収証書をアップロード)。一般推薦を同時に志願する場合は、一般推薦の出願にも入学検査料が必要となります。

Ⅲ 願書入力時の注意点

一般推薦に限り、受検校の志望学科内に複数の科がある場合、第2志望まで出願できます。第2志望にも出願することにより、第1志望の科（学科・コース）に不合格の場合でも、第2志望以下の科（学科・コース）に合格できる場合があります。ただし以下の点に注意してください。

(i) 同一の学科ならば、第1希望だけでなく第2希望以下の分野を指定することができます

例1 第1志望を八王子桑志高校の産業科のデザイン分野とした場合、同じ学科のクラフト分野を第2志望に指定することができる。

(ii) 複数の学科・コースがある場合は、他の学科・コースを第2志望とすることはできません

例2 第1志望を瑞穂農芸高校の農業に関する学科の園芸学科とした場合、同じ学科の畜産科学科を第2志望に指定することはできるが、家庭に関する学科の生活デザイン科を第2志望に指定することはできない。

例3 第1志望を葛西工業高校の工業に関する学科のデュアルシステム科とした場合、同じ学科の機械科を第2志望に指定することができる。

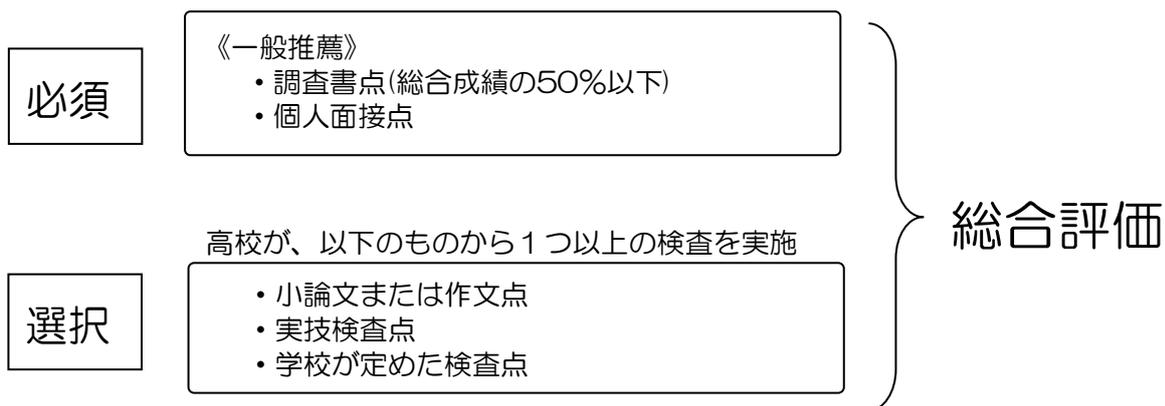
例4 第1志望を松が谷高校の外国語コースとした場合、普通科を第2志望に指定することはできない。

⑥ 検査（推薦入試）

○日時：令和5年1月26日（木）・27日（金）…原則として、1日だけで実施

○個人面接、作文、実技などによる（5年度入試でも「集団討論」は実施されません）

⑦ 選考方法



○選考の際に点数化されるもの

以下の各項目の得点を総合して合否が決まります。各項目の満点は高校によって異なります。

【調査書】

- ・中学校で作成する書類です。評定（5段階）を用いて点数化するか、観点別評価（観点ごとのA・B・C）を用いて点数化するかは高校によって異なります。ほとんどの高校は評定を用います。
- ・総合成績に占める調査書点は上限50%と定められています。

【個人面接】

- ・全員に実施します。個人面接の一部でパーソナルプレゼンテーションや自己PRを行う高校もあります。個人面接の合計点が出されます。

【作文・小論文・実技検査】

- ・どれか1つ以上を全員に実施します。どれを実施するかは高校によって異なります。

※ 自己PRカード・・・面接で質問する際の資料として使用されますが、点数化はされません。

※ ESAT-J 英語スピーキングテストの結果は、推薦入試では利用されません。

〔一般推薦の選抜方法の例〕（令和4年度入試）

| 立川高校（募集定員の20%） | 神代高校（募集定員の20%） | 農業高校（募集定員の35%） |
|----------------|----------------|------------------|
| 調査書点(評定) 500点 | 調査書点(評定) 450点 | 調査書点(評定) 450点 |
| 個人面接 100点 | 個人面接 150点 | 集団討論・個人面接 360点 |
| 小論文 400点 | 作文 300点 | 作文 150点 |
| | | * 都市園芸、食品科学、緑地計画 |
| 計 1000点満点 | 計 900点満点 | 計 960点満点 |

〔文化・スポーツ等特別推薦の例〕（令和4年度入試）

| 杉並総合高校（種目：バスケットボール，人数：女子5人） | 選抜方法 |
|---|--|
| 基準：以下の全てにあてはまる者 | 調査書点(評定) 225点 |
| ・集団生活において、リーダーシップを発揮できる者 | 個人面接 275点 |
| ・中学校でバスケットボール部の活動を経験している者又は校外のクラブチーム等で経験している者で、チームの一員として、顕著に活躍した者 | 実技検査 500点 |
| ・入学後も、本校のバスケットボール部に所属し、3年間活動する者 | 計 1000点満点 |
| | 選考における留意点： 基礎体力や技術・チームワーク・意欲を総合して判断する |

⑧ 合格発表

- 日時：令和5年2月2日（木）午前8時30分（ウェブサイト掲載） 午前9時30分（校内掲示）

⑨ 入学手続き

- 日時：令和5年2月2日（木）午前9時30分～午後3時30分
2月3日（金）午前9時～正午

◎この期間内に「入学確約書」を提出し、所定の「納付書」により、納付期間内に指定された金融機関に「入学金」（全日制は5,650円、定時制は2,100円）を納入します。

⑩ その他

- 推薦の場合、合格発表後の辞退および他校（公私立）への出願・受験はできません。

《3》学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）・・・いわゆる「一般受検」

① 応募資格

主に次の i・ii のように規定されています。

- i 令和4年3月に中学校を卒業する見込みの者。または既に卒業した者。
- ii 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、それ以降も都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

【注意事項】

- ◎ 都立高校の推薦に基づく選抜合格者及び、東京都立産業技術高等専門学校の入学選抜合格者は応募できません。

※他道府県に転居予定の場合は原則として都立高校には出願できません。転居予定先の他道府県立高校を受験する可能性がある場合は、10月の三者面談までに必ず担任にご相談ください。

※島しょ部の学校を受検する場合などは、志願先の都立高校で応募資格の審査を受ける必要が生じる場合もありますので、各自ご確認ください。担任にも早めに申し出てください。

※都立高校の受検については欠席日数などによる出願規定はありませんが、高校側に理解してもらいたい事情がある場合は「自己申告書」を提出することができます。所定の用紙は、第三中学校からお渡しますので、担任にお申し出ください。

② 出願（一般入試第一次／分割前期）

- I 日時 令和4年12月20日（火）～令和5年2月7日（火）までにインターネット入力
→令和5年2月1日（水）～7日（火）に書類提出（中学校が行います）

※「インターネットでの志願者情報の登録」が12/20～とされていますが、その段階で各高校への出願ができるのかどうかは通知を待っているところです。個人情報の登録開始(12月)→各高校への一般入試出願処理開始(2月)と、2段階を踏む可能性もあります（追ってお知らせします）。

II 出願手続き

都立高校に提出する調査書、自己PRカード、納付書は原則中学校が用意します（高等学校所定の様式を除く）。

- ア) 出願申請 …………… 各自でインターネット入力
- イ) 調査書 …………… 中学校が作成、郵送
- ウ) 自己PRカード ……… 各自で記入または入力。面接実施校のみ出願時に提出（中学校が郵送）。
面接がない学校は合格後に提出することになっています。
- エ) 入学考査料 …………… 2,200円

※ 出願サイト上で決済または所定の納付書(中学校で配布)により、納付書裏面に記載された金融機関で納入します（→領収証書をアップロード）。

Ⅲ 願書入力時の注意点

○受検校の志望学科内に複数の科がある場合、すべての科に志望順位を付けて記入することができます。また、立川高校の理数科を第1志望とする場合は、同校の普通科を第2志望に指定することができます。

③ 志願の変更（一般入試第一次／分割前期）

学力検査に基づく選抜の第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集については、1回に限り志願の変更を行うことができます。（新聞等で発表される応募状況を見て判断することができます。）

○願書取り下げ 令和5年2月13日（月）午前9時～午後3時

➔ 願書再提出 令和5年2月14日（火）午前9時～正午

※分割前期募集では、一度取り下げた願書を同一の高校の同一の学科（コース）に再提出することはできません。また、同一学科内の志望順位の変更はできません。

志願変更できる例

| | | | |
|-------------------|---|------------------|-----------|
| 小平南「普通」 | ⇔ | 神代「普通」 | 普通科どうし |
| 八潮「普通」 | ⇔ | 芝商業「ビジネス科」 | 異なる学科 |
| 富士森高校「普通」 | ⇔ | 片倉「造形美術」 | 異なる学科 |
| 国際「国際学科」 | ⇔ | 小平「外国語コース」 | 専門学科 |
| 深川「外国語コース」 | ⇔ | 深川「普通」 | 同一校の異なる学科 |
| 農業「農業に関する学科」－食品学科 | ⇔ | 農業「家庭に関する学科」－食物科 | 同一校の異なる学科 |
| 六郷工科「プロダクト工学科」 | ⇔ | 六郷工科「デュアルシステム科」 | 同一校の異なる学科 |

志願変更できない例

| | | | |
|--------|---|----------------|------------------------------|
| 園芸「動物」 | ✕ | 園芸「食品」 | 同一校同一学科へは不可 |
| 蒲田「普通」 | ✕ | 六本木「デュアルシステム科」 | 全日制からチャレンジスクールへの志願変更は不可。逆は可。 |

○志願変更をする場合は、「志願変更願」（必要事項を記入後、学校印をもらう）と受検票をはじめに出願した高校に提出し、調査書、入学願書、受験票等の書類を返却してもらいます。その後、最初と同じように出願サイトで新しい学校に出願し、必要書類を志願変更先の高校に持参します。

○面接実施校では、再提出先に合わせた「自己PRカード」を新たに作成することになります。

④ 学力検査（一般入試第一次／分割前期）

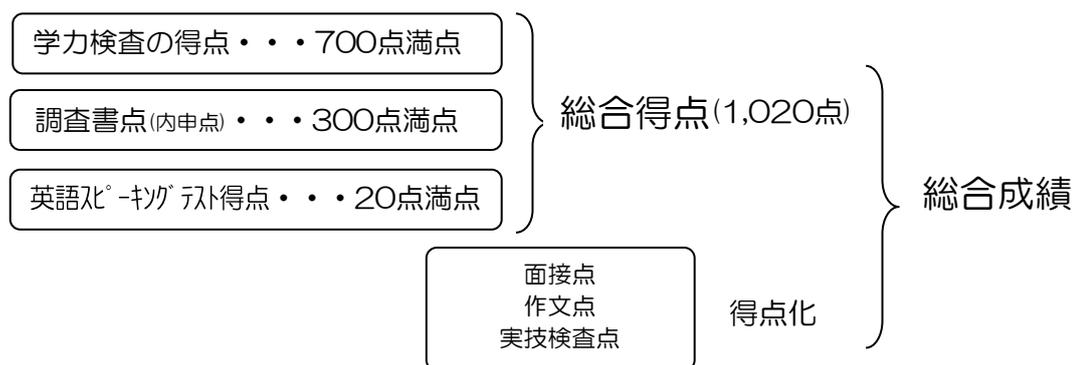
○日時：令和5年2月21日（火）

○検査科目：原則5教科（国語・数学・英語・社会・理科）

※傾斜配点（特定の教科の配点に比重をかける）を実施する学校・コースもあります。

※2月21日（火）以後に、面接・実技検査等を実施する学校・コースもあります。

⑤ 選考方法（一般入試第一次／分割前期）



i 全日制の一次募集、分割前期募集では「学力検査：調査書＝7：3」です。

(ただし、芸術および体育に関する学科については6：4の場合があります。)

定時制課程は、各校ごとに教科数(5教科～3教科)及び比率(7：3又は6：4)が定められ、面接は必ず実施されます。

※ 第二次募集・分割後期募集の「選考」については、「学力検査(入試得点)」と「調査書(内申点)」の比率は「6：4」です。(ただし、芸術および体育に関する学科についてはこれに当たらない場合があります。)

☞ 総合得点の出し方については、30ページ「資料③都立入試選抜「総合得点」の出し方」をご覧ください。

ii 都立高校全日制普通科全校(108校)では、男女別募集人員の各8割までを男女別に選考し、残りの2割を男女合同で選考します(昨年度入試では9割を男女別に、1割を男女合同で選考しました)。今後できるだけ早く100%男女合同の選考にすることを目指しています。

※「男女別定員制の緩和」は、第一次募集・分割前期募集でのみ実施されます。

iii 専門学科や昼夜間定時制では、「学校全体の定員で合格者を決めてから、第1志望を優先して各科の合格者を決める場合(複数の専門学科をもつ高校と昼夜間定時制高校の一部)」と「各部ごとに合格者を決める場合(昼夜間定時制高校の一部)」があります。他の科に順位をつけて出願している場合、第2志望以降の科に合格する場合があります。

iv 学力検査を行わない学校では、それぞれ以下の点数で合否を判断します。

- エンカレッジスクール …… 調査書(観点別で点数化)・面接・小論文等・実技の総合成績
- チャレンジスクール …… 志願申告書・面接・作文の総合成績

⑥ 東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の都立入試への活用

今回の令和5年度入試より本実施される英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果が、都立高校入試にも使われます。これまでに進路説明会、配布リーフレット、申し込みサイト、英語授業等で保護者の方およびお子さんにお伝えしていることを簡単にまとめます。ご不明点があれば第三中学校英語科（進藤）までお尋ねください。

○実施日：令和4年11月27日（日） 予備日は12月18日（日）

※結果は1月中旬に中学校に届きます。すぐにお子さんを通じてご家庭にお伝えします。第一次募集／分割前期募集の出願締め切りは2月7日ですので、ESAT-Jの結果を見てから出願する学校を検討し直す時間もあります。

※ESAT-Jのために実施事業者提供していただいている個人情報、これ以外の目的で使用されることはありません。

○実施会場：都立学校、民間施設等（まだ決まっていません。生徒それぞれで会場に集合する予定です）

○入試への活用：

- ・第一次募集および分割前期募集でテストの結果が活用されます（エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校等は対象外）。
- ・テストの結果はA～Fの4段階で評価されます。それを次のように20点満点で点数化し、学力検査の得点（700点満点）と調査書点（300点満点）に加え、総合得点（1,020点満点）が算出されます。

| スピーキングテスト結果（評価） | A | B | C | D | E | F |
|-------------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 都立高等学校入試での活用（点数化） | 20点 | 16点 | 12点 | 8点 | 4点 | 0点 |

- ・スピーキングテストの不受験者については「仮のスピーキングテスト結果」を算出し、点数化の上加算することで、不利にも有利にもならないように取り扱われます。

⑦ 合格発表（一般入試第一次／分割前期）

○日時：令和5年3月1日（水）

* 全日制：午前8時30分（ウェブサイト掲載） ・ 午前9時30分（校内掲示）

* 定時制：午前8時30分（ウェブサイト掲載） ・ 午後4時00分（校内掲示）

⑧ 入学手続き（一般入試第一次／分割前期）

○日時：令和5年3月1日（水） * 全日制：午前9時30分～午後3時 * 定時制：午後8時～午後4時

3月2日（木） * 全日制：午前9時30分～正午 * 定時制：午後8時～午後4時

◎この期間内に「入学確約書」を提出し、所定の「納付書」により、納付期間内に指定された金融機関に「入学金」（全日制は、5,650円、定時制は2,100円）を納入します。

◎私立高校に併願優遇で合格している場合は、その私立高校に「辞退届」などの手続きが必要な場合があります。私立高校の募集要項等で確認をお願いします。

《4》 学力検査に基づく選抜（分割後期募集・第二次募集）

- 分割募集：あらかじめ募集を「前期」と「後期」の2回に分けて募集する制度
- 第二次募集：第一次募集の結果、入学手続き数が募集定員に達しない高校が実施する募集

① 応募資格

すでに都立高校、都立産業技術高等専門学校に合格した者は出願できません。3月25日（金）に行われる定時制の第二次募集では、上記に加え、分割後期募集・全日制第二次募集の選抜における合格者も出願できません。一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、国私立高校に入学手続きを終えている生徒も出願を遠慮してください。

② 出願（分割後期／一般入試第二次）

出願書類は、第一次募集・分割前期募集と同じですが、提出方法は原則高校への持参となります。インターネット出願はありません。

○日時： 令和4年3月6日（月）午前9時～午後3時まで

③ 志願の変更（分割後期／一般入試第二次）

方法・条件等は第一次募集／分割前期募集と同じです。

○願書取り下げ： 令和5年3月7日（火）午前9時～午後3時

➔ 願書再提出：令和5年3月8日（水）午前9時～正午

④ 学力検査（分割後期／一般入試第二次）

○日時：令和5年3月9日（木）

○検査科目：原則3教科（国語・数学・英語） ※面接・実技検査がある学校もあります。

⑤ 選考方法（分割後期／一般入試第二次）

「選考」については、第一次募集・分割前期募集に準じますが、以下の2点が違います。

- ・英語スピーキングテストの結果は選考に利用されません。
- ・「学力検査（入試得点）」と「調査書（内申点）」の比率は「6：4」です。

⑥ 合格発表（分割後期／一般入試第二次）

○日時：令和5年3月15日（水）正午

⑦ 入学手続き（分割後期／一般入試第二次）

手続き方法は第一次募集／分割前期募集と同じです。

○日時：令和5年3月15日（水）正午～午後3時

3月16日（木）午前9時～正午

3 私立高校の入学選抜について

私立高校の入試のしくみは、それぞれの高校により異なります。受験する高校がしぼられたら、必ずご家庭で高校の「令和5年度(2023年)募集要項」を入手し、詳細をご確認ください。各高校で配布(販売)しています。

推薦を希望する際の基準をはじめ入試に関する詳しい情報は、10月以降の学校説明会で詳しく説明されることが多いです。夏に説明会に参加していても、今後もう一度参加するメリットもあります。もちろん、受験を検討する学校の説明会には必ず参加し、「よく知らない学校に進学することになった」ということがないようにしましょう。

《1》私立高校入試の種類(東京都)

推薦入試

1月22日(日)～

選抜方法

- ① 推薦 《面接・作文・適性検査等》
- ② 自己推薦 《面接・適性検査等》

一般入試

2月10日(金)～

選抜方法

- ① 第一志望優遇制度 《学力検査・面接等》
- ② 併願優遇制度 《学力検査・面接等》
- ③ 一般受験(フリー受験) 《学力検査・面接等》

都立高校の入試に関する書類は原則として中学校で準備・配布しますが、

私立高校の入試に関する書類は各ご家庭で用意することになります(インターネット出願を求める高校も急激に増えています)。ご注意ください。

私立高校へ提出する「調査書」は、高校によって形式が異なります(入試要項を購入すると中に入っています)。第三中学校にお預けいただきましたら、こちらで作成いたします。原則1月上旬に、厳封の上ご家庭にお返しします。出願の時期が他校より早いなどの事情がありましたらご相談ください。なお、「都立用の調査書可」「私立統一様式の調査書」という記載がありましたら、調査書の用紙自体を第三中学校で用意することができます(それについては12月に配布する『調査書・出願書類作成願い』でお伺いします)。

《2》推薦入試 ※システムは高校によって違います。実施していない高校もあります。

① 推薦の条件

高校が示す推薦基準を満たし、中学校の校長推薦を受けることができた生徒を対象に、学力検査ではなく、面接や作文等で入学者を選抜します。

推薦基準例

- ① 本校への入学を第一志望とする者で中学校長が推薦する者。
- ② 評定に1と2がない者。
- ③ 評定の9教科合計、5教科合計、3教科合計など。
- ④ 出席状況が良好で、遅刻・早退・欠席が年間5回以内であること。
- ⑤ 体育の授業（柔道・ダンスを含む）、学校行事などに支障なく参加できるもの。
- ⑥ 国語の内申が3の者で漢字検定準2級以上を取得している者は4、国語の内申が4の者で漢字検定2級以上を取得している者は5とみなす。

② 注意が必要なこと

- i 第一志望であることが条件です。合格したら辞退することができません。1月中旬に合格が決まります。
推薦で合格した場合は他校への出願・受験はできません。
- ii 推薦出願・受験をするためには、12月15日から中学-高校間で行われる「入試相談」に推薦者名簿を提出しなければなりません。そのため、11/29～12/5の三者面談までには意志を決定する必要があります。
- iii 推薦を希望する場合は、第三中学校への「推薦制度依頼書」の提出が必要です。
- iv 推薦者は、第三中学校の推薦基準に基づいて全教員で検討し、校長が最終決定します。
※第三中学校で推薦できる生徒については、P24『6 これからの予定と手続き』を参照してください。

③ 入試日程（一般的な東京都の私立高校の場合）

I 出願

○日程：令和5年1月15日（日）以降

○出願書類：推薦書、調査書、願書、その他学校で指定された書類（インターネットで入力する場合も）

II 入学試験

○日程：令和5年1月22日（日）以降

○内容：面接、作文、適性検査（国語、数学、英語の3教科がほとんど）など

III 発表

検査日当日、または翌日に合否が発表される学校がほとんどです。

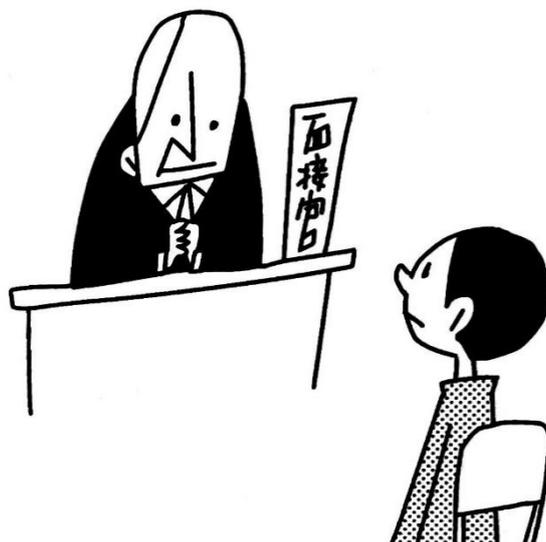
IV 手続き

合格発表後2～3日以内の学校がほとんどです。第1志望が条件のため費用の延納はありません。

④ 合否の判定

- ・調査書、推薦書と面接、作文等の結果を総合的に判断して行われます。一部、適性検査を実施する学校もあります。
- ・基準に達していればほぼ合格となる学校と、基準は受験資格に過ぎず、応募人数が多ければ不合格を出す学校があります。

※ 推薦で不合格となった場合は、その学校の一般入試を再度受験することができます。再受験の場合には、優遇される場合もあります（多くの場合、学力検査への加点の形で優遇されます）。



《3》一般入試 ※システムは高校によって違います。(改ページミスです次のページに続きます↓)

当日の入試だけで合否が決まるいわゆる「フリー受験」と、高校側の示す基準を満たせば第一志望を優遇する「第一志望優遇制度」、同じく第二志望者でも優遇する「併願優遇制度」があります。(条件や制度の有無は高校によって違います)

① 入試日程と選考 (一般的な東京都の学校の場合)

I 出願

- 日程：令和5年1月25日(水)以降
- 出願書類：推薦書、調査書、願書、その他学校で指定された書類(インターネットで入力する場合も)

II 入学試験

- 日程：令和5年2月10日(金)以降
- 内容：国語、数学、英語の3教科がほとんどですが、学校によって異なる場合もあります

III 選考

学力検査の結果が第一ですが、調査書と面接・作文などについても推薦受験と同じく重視されます。得点は公表されていません。

※私立高校の場合、推薦入試による合格者の割合が高く(50%のところも)、また、一般受験の定員の中に優遇制度などの合格を見込んでいるので、その残りの定員が当日の「フリー受験」定員となり、厳しい状況になる場合もあります。

IV 発表

検査日の翌日以降(インターネットでの発表がかなり多くなっています)

V 手続き

発表後2、3日以内の手続きを求める学校がほとんどです

ただし「延納手続き制度」がある高校は、事前に手続きをすれば、費用の一部または全ての納入を「都立高校の一次発表まで」待ってもらえます。手続きの方法は高校によって異なりますので、必ず確認してください。

VI 一般入試における第一志望優遇制度・併願優遇制度

この制度の利用には、12月15日（木）から行われる中学・高校間の入試相談に志望者名簿を提出する必要があります。11月29日からの第3回面談までに決定する必要があります。

i 第一志望優遇制度とは

ア 合格したら必ず入学することを条件に優遇するものです。

イ 成績等の基準があります。（募集要項や説明会等で確認してください）。

ウ 一般受験の日に受験します。

エ 一定の点数が加点される場合が多いです。優遇措置をとっていても、合格点に満たなければ不合格となります。

オ 費用の延納はありません。

カ 実施する学校としない学校があります。募集要項等で確認し、希望する場合は担任にご相談ください。

ii 併願優遇制度とは

ア 第一志望の高校が不合格になった場合は、必ずその高校に入学することを条件に入試得点に加点するなどの優遇制度です。

イ この制度を利用した場合、第一志望校が不合格ならば必ず入学しなければなりません。したがって、都立高校の分割後期募集・二次募集や他の私立高校の二次募集を受験することはできません。

ウ 第一志望の学校は都立（公立）のみの場合と、私立を受験してもよい場合があります。各高等学校によって、基準や条件が異なるので、内容をよく調べてから受験する必要があります。

※ 都立高校が第一志望の場合、都立高校一次募集の合格発表日かその翌日まで入学金などの延納が可能です。

※ 延納の手続きは、「願書に記入する場合」・「別途用紙がある場合」・「中学校から手続きをする場合」など、学校により異なります。募集要項でよく確認をしてください。

エ 成績等の基準があります。基準は推薦入試に比べて高めに設定しているのが一般的です。

オ 日程は「一般入試と同じ」が原則です。試験日が2日以上ある高校では、受験日が指定されることがあります。

カ この制度を利用しても、当日の得点や面接での評価により不合格になる場合もあります。

キ 実施する高校としない高校があります。募集要項等で確認し、希望する場合は担任に必ず相談してください。

ク この制度を利用する場合は「併願優遇制度依頼書」を第三中学校に提出する必要があります。

4 特別支援学校高等部について

子どもの発達保障と将来の自立を見据え、特別支援学校を進路選択の一つとして考え、志望する人も増えてきています。ここでは主な応募資格について述べておきます。興味のある人は早めに学校に相談してください。他の学校と比較すると、入学条件・入学相談日程などが違います。

《1》普通科

① 応募資格

応募資格は以下のように定められています。7月頃からそれぞれの学校で、入学相談、事前の面接を行っています。出願の前に相談をしておくことが必要となります。

○障害のある者（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病弱や身体虚弱）

⇒それぞれに対応した支援学校に応募することになります。また、その障がいの程度を証明できるものが必要となります。

- ・肢体不自由特別支援学校 …… 身体障害者手帳の写し（または医師診察記録）
- ・知的障害特別支援学校 …… 愛の手帳（療育手帳）の写し（または医師診察記録）
- ・病弱特別支援学校 …… 医師診察記録

※募集人員は定められておらず、応募資格が認められれば、入学することができます。

② 入試日程

○願書受付日：令和5年1月11日（水）～13日（金）

○入学相談：令和5年1月25日（水）（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱）
1月31日（火）（知的障害）

○入学許可予定者発表日：令和5年2月17日（金）

《2》職業学科（就業技術科・技能開発科）

① 応募資格

応募資格は以下のように定められています。

- 知的障害がある者
- 高等部職業学科の教育方針の下、学校生活を有意義に過ごすことができ、将来、企業への就労を目指す者

② 個別説明

志願者および保護者は、入学願書受付までに、志願する就業技術科及び職能開発科設置校の個別説明を受けなければなりません。

- 就業技術科（永福学園・青峰学園・南大沢学園・志村学園・水元小合学園）
- 職能開発科（港特別支援学校・足立特別支援学校・江東特別支援学校・東久留米特別支援学校・青鳥特別支援学校）
- 学校公開・個別説明受け付け等、6月から始まっています。

③ 入試日程

- 願書受付日：（就業技術科・職能開発科）令和4年11月9日（水）～11日（金）
- 入学者選考：令和4年11月20日（日）（就業技術科・職能開発科）
令和4年12月11日（日）（職能開発科）
- 合格者発表：令和4年12月2日（金）（就業技術科）
令和4年12月26日（月）（職能開発科）



5 都立高校・私立高校以外の進路について

募集要項・願書等の必要書類は、各自で入手してください。中学校で記入・作成する必要のある書類は、早めに提出してください。

《1》^{こくりつ} 国立高等学校

- 都内には6校（お茶の水女子大学附属高校，筑波大学附属高校，筑波大学附属駒場高校，東京学芸大学附属高校，東京芸術大学音楽学部附属高校，東京工業大学附属科学技術高校）
- 出願は1月初旬～中旬、入試は2月13日（月）頃 ※各校の入試要項を参照してください。
- 私立高校のような推薦・優遇制度は基本的にありません（東工大の推薦を除く）

《2》 高等専門学校

- 中等教育(高校過程)と高等教育(大学課程)を合わせた教育制度で、5年間一貫したカリキュラムにより一般教育と専門教育の勉学をします。国立、公立(都道府県)、私立設置の学校があります。
- 都内は国立の東京工業高等専門学校（高尾），東京都立の産業技術高等専門学校（品川・荒川）、私立のサレジオ高専（町田）があります。
- 推薦入試もあります。
- 入試日程は各校で違います。入試要項でご確認ください。推薦出願・試験は1月、一般出願・試験は2月中にあります。

《3》 高等専修学校

調理や理容・美容等の専門科目を学びます。通信制の高等学校にも同時に在籍することで、高等学校卒業の資格と専門分野の資格を合わせて取得することができる学校もあります。

《4》 通信制高校・サポート校

- 通信制高校は、自分に合ったペースで学習・スクーリング・試験などを通し単位を修得し、3年以上の修学で卒業要件を満たせば高校卒業資格を取得できます。関東にキャンパスを持つ学校では、あずさ第一高等学校，クラーク記念国際高等学校，通学コースとネットコースが選べるN高等学校などがあります。
- サポート校は、高等学校の通信教育を受ける人や高等学校卒業程度認定試験合格を目指す人の学習をサポートする学校で、単独では高校卒業資格を取得することはできません。

《5》 就職・職業能力開発センター

中学校を卒業してすぐに就職する場合には、ハローワークを通して求職する方法と縁故による就職の2通りがあります。また就職に先立って、職業能力開発センターでいくつかの職種に必要な技能を学び、職業訓練を受けることもできます。推薦や選考が早い段階から開始されます。希望がありましたら早めに学校に相談してください。

6 これからの予定と手続き

《1》第三中学校校長推薦の基準

「推薦制度」の利用は、12月までに決定します。推薦制度の利用には高校から示される基準と照らし合わせて、中学校長の推薦基準を満たす必要があります。第三中学校では推薦基準を次のように定めています。また、その結果については本人、保護者や他学年の職員にも報告します。

校内推薦基準

以下のような中学校生活を送っている生徒を推薦する。なお、一時的な事象のみで判断せず、継続的な状況をもって判断する。

- ① 学習態度が良好で、きちんと授業を受けている生徒
- ② 基本的な生活習慣を身につけており、出席状況が良好である生徒
- ③ 委員会や係活動、学校行事、部活動、ボランティア活動などに積極的に参加している生徒
- ④ 社会や学校のルールを守って生活している生徒
- ⑤ 合格後、進学後も、推薦された者としてそれにふさわしい学校生活を送ることのできる生徒

《2》推薦生徒決定までの手順

『校内推薦基準』に基づき、「校内推薦委員会」「職員会議」を経て、第三中学校の校長および全職員で推薦の可否を決定していきます。推薦を希望し《推薦可》となった生徒の保護者には『推薦制度依頼書』を提出していただきます。その後、中学校側と高校側との推薦の手続きとなります（ここで示した“推薦の手続き”は、あくまで中学校側と高校側とのやりとりであり、合格の手続きとは異なります）。

- ① 推薦受験（都立／私立）を希望する生徒・保護者は『推薦制度依頼書』を提出
↓
- ② 校内推薦委員会（校長・副校長・進路指導主任・3学年職員）が推薦の可否を協議
↓
- ③ 職員会議で全職員が推薦生徒名簿を確認、意見を集約
↓
- ④ 上記基準について **問題がなければ** → 校長が最終的に決定
問題があれば → 校長が面接を行い、本人の意志を確認した上で判断

《3》進路関係の書類作成（第三中学校に提出していただく書類）

今後、受験に関する業務を円滑かつ間違いなく行うために、必要に応じて下の書類をご提出いただくこととなります。提出期限に遅れることのないよう、ご協力をよろしく申し上げます。

ご家庭と学校との進路にかかわる大切な書類は、受け渡しミスを防ぐため、後日配布する「連絡袋」を使用します。お手数ですが、進路に関わる書類に関しては、必ず「連絡袋」に入れて提出くださいますよう、お願いいたします。また、学校からのお知らせ、配付物は必ずご確認ください。

書類作成上の注意：

- 入学願書等に押す印鑑は、インク浸透式のものは無効です。朱肉を使う印鑑を使用してください。
- 修正液の使用はできません。二重線で消して書き直し、訂正印を押してください。

(1)進路用個人資料 … 11月に提出をお願いします

- 調査書の『諸活動の記録』に記載してほしい事項を確認させていただくもの
- 調査書およびその他の書類に記載する『氏名』『住所』『生年月日』を確認させていただくもの
- 取得した資格・検定等を証明できる書類のコピー

※進路関係の書類に記載（入学願書、受検(験)票、調査書、推薦書、学力検査時の記名等）する氏名の文字は、住民票に記載されているものを使うのが基本となります(進路関係のすべての書類で統一して使用することとなっています)。ただし、住民票に記載の文字が常用漢字表外の文字である場合、その文字を常用漢字で代用しても差し障りありません。後日、受験に関する書類に使用する文字を確認させていただきます（上記②）ので、そこで申告された文字で、願書や受検(験)票を記入してください。学校もその文字で書類を作成します。

例)「齋」「斎」「齊」/「邊」「邊」「辺」/「崎」「崎」

※卒業関係書類や進学先提出書類は、全て「住民票記載通りの氏名」を使用しますので、原則住民票記載のものを使用して下さい。

※質問やご家庭の諸事情がある場合には、担任までご連絡ください。

(2)推薦関係 … 11月末からの三者面談後に提出をお願いします

- 推薦制度・第一志望優遇制度・併願優遇制度 依頼書

※ 推薦や優遇制度を利用するかどうかの最終決定の後、制度を利用する場合は上記書類を提出していただくこととなります。

(3)調査書関係 … 12月中旬以降、随時提出をお願いします

- 調査書・出願書類作成願

※ 各高校の出願時に必要な書類のうち第三中学校が作成するものについてお伝えいたします。

《4》合格後の手続き

- (1) 都立も私立も推薦で合格した場合は、辞退することができません。慎重に学校を選んでください。
- (2) 私立高校等に入学が決まり手続きをした場合は、他の高校の受験はできません。ご承知おきください。
- (3) 合格した都立高校（高専を含む）を入学辞退すると、その年度は都立高校を再受検できません。
- (4) 手続き等に関して入学手続きが確実に終わって、初めて「進路決定」となります。

①合格者は必ず期間内に手続きをしてください。手続きをしない場合には合格が取り消されます。

特に延納の手続きが必要な学校は忘れないように注意してください。

②受験料や入学手続きに必要な費用の払い込みは銀行等から振り込む場合が多いです。金融機関の営業日や営業時間を確認して遅れないように注意してください。また近年はインターネットで決済する学校も増えています。

③私立高校の延納期限は、都立高校第一次募集の合格発表日当日かその翌日としている高校が多いです。万が一、都立高校が不合格だった場合に、振り込みや手続きが遅れないように注意してください。

④受験票は合格時、必要書類を受け取る際に必要です。受験後も大切に保管してください。

《5》願書等に使用する写真について

第三中学校では昨年度まで受験用の写真を学校で一斉に撮影していましたが、都立を含めネット出願の学校が多くなっている状況に鑑み、それをやめました。紙での出願もあわせて、お子さんの顔写真はご家庭で準備していただくようお願いします。その際は入試要項をよく確認し、条件にあった写真を撮るようにしてください。また、写真は標準服（冬服）を着て撮影するようにしてください。

※別紙に進路決定までのスケジュールをまとめました。

7 保護者の皆様へのお願い

(1) 進路の最終決定権は各ご家庭（生徒・保護者）にあります。

そのために、ご家庭で十分に話し合ってください。

都立、私立、その他の学校も含めると、その数は膨大であり、それぞれの学校に特性があります。どういう進路を選択すべきか、どの高校をどんな方法で受験すべきか、最終決定権はもちろご家庭にあります。進路先は個人の特性や個性、将来の希望をよく考えた上で決めることが大切であり、学級担任であっても「どの学校が良いか」というようなご質問に答えたり、特定の進路先（学校名など）を強く推したりすることはできません。学校は、ご家庭で話し合った結果として出していただいた進路希望に基づき、過去のデータから読み取れる情報をお伝えしたり、アドバイスをしたりしていきます。

何よりも大切なことは、自分で考え、最終的に自分で決めるということです。今までもご家庭で話し合いをされてきたことと思いますが、この先何を学習したいのか、費用や通学の面でどうなのかなど、進学した後の生活も見通して、具体的に話し合いをし、最終決定していただくようお願いいたします。

(2) 基本的な生活をしっかりとし、心身ともに健康に過ごせるようご配慮ください。

これから、心身ともにアンバランスになりやすい時期になります。ご家庭でも、学習だけに視野を狭めず、適度な運動や気分転換をすすめたり、リラックスできる環境や雰囲気を作ってあげたりしてください。また、寒さの厳しい時期に受験の山場を迎えますので、今以上に健康管理が大切になります。生活のリズムをくずさないよう、気を付けてください。コロナウイルスだけでなく、インフルエンザの予防接種の検討もされてみてはいかがでしょうかと思います。

とかく「受験生だから」と、家庭の中の役割を果たさなかったり、ルールを守らなかったりすることを大目にみてしまいがちです。しかし進路選択は、誰もが乗り越えなければならない試練です。家族の一員として、また中学生としての生活にきちんと立ち向かえなければ、真の意味で試練を乗り越えたことにはなりません。中学生としてすべきことはきちんと行い正しい生活をさせるよう、家庭と学校が力を合わせて指導していきましょう。

(3) 進路決定後も配慮を大切に。

決定した進路は、生徒と保護者がよく話し合い、努力してつかんだ進路です。個人的な感情で、「あの学校は・・・だ」などと安直に言うことは、自分のお子さんであっても、同級生であっても、努力してきた生徒の心を深く傷つけることになります。学校でも指導いたしますがご家庭でも、そのような発言のないよう、ご配慮ください。また例えば「すべりどめ」などということばを使うことも、その学校を尊重する気持ちに欠けるばかりか、受験を検討している他生徒への配慮が感じられません。さらに、進学先決定の時期は生徒によって変わってきます。進学先が決まったあとも、まだ一生懸命頑張っている仲間への気配りを忘れないよう、ご家庭でもお話してください。

他者を尊重する気持ちや仲間を思いやる心は、受験以上に大切なものであるはずですよ。

資料① 調査書

都立高校に提出する「調査書」は、共通の形式になっています。

昨年度の「調査書」

今年度（R5年度入試）は「出欠の記録」がなくなります。

(様式10) (A4判)

調 査 書

(注) ①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
②※印の欄には記入しない。

| | | | | | |
|----------|------|--------------|--------------------------|---------|--|
| 成績一覧表の番号 | | 121 | 成績一覧表の提出の有無 (該当を○で囲む) | | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| 学籍の記録 | フリガナ | シンジユク タロウ | | 性別 | 男 |
| | 氏名 | 新宿 太郎 | | 転入学等 | 年 月 日 編入学 中学校から転学 |
| | 生年月日 | 平成18年 8月 8日生 | | 卒業・卒業見込 | 令和4年 3月 <input checked="" type="radio"/> 卒業見込 <input type="radio"/> 卒業 |

| | | | |
|------------------|-------------|---------------|-------------|
| ※受験番号 | コース・科(分野)・部 | 番号 | コース・科(分野)・部 |
| 文化・スポーツ等 特別推薦 | | 一般推薦 | |
| 理数等特別推薦 | | 一般選抜 (変更後) | |

| | | |
|-------|------------|---|
| 出欠の記録 | なければ 目数 | 海外帰国生徒対象等との併願 (該当番号を○で囲む) |
| | 数 | 1 海外帰国生徒対象 2 引揚生徒対象 3 在京外国人生徒対象 4 都立産業技術高等専門学校 |

| 各 教 科 の 学 習 の 記 録 | | | | | | | | | | | | | | | 総合的な学習の時間内容及び評価 | | | |
|-------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|---|---|---|-----------------|---|---|---|
| 教科 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | 外国語(英語) | | | | | | | | | |
| 観点別 学習 状況 | 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 | 課題を「地域の未来を考える」と設定し、住みよい地域社会づくりの視点から資料収集・調査活動等を行い、地域の方々に成果を発表する動画を作成した。課題を発見する能力、分かりやすくまとめる力、発表での表現力が向上した。 | | | | | | | |
| 評価 | B | A | A | A | A | B | C | B | B | B | B | A | B | B | A | B | A | A |
| 評 | 4 | | | 5 | | 2 | | 3 | | 2 | | | | | | | | 5 |

・図書委員として「図書だより」の作成を担当(第3学年)
・〇〇検定〇級を取得(第3学年)

記載事項に相違ありません。

令和4年 1月 14日 記載者氏名 有瀬 町子
[学校所在地] [電話番号]
新宿区西新宿2-8-1 03(5320)6755
[学 校 名] シンジユクチュウオウ 校長名
新宿区立新宿中央中学校 東京 花子
[学校番号] 304250
(注意)学校名にのみフリガナを付ける。[学校番号]は、都内の公立学校のみ記入する。
[学校番号]は、東京都立高等学校入学者選抜実施要綱別表10を参照すること。

「諸活動の記録」に記載する内容については、事前に各ご家庭から記載してほしい内容を提出していただきます。スペースが限られていますので、お子さんと一緒に確認しながら優先順位を考えて記入いただくようお願いします。その後、保護者宛「調査書記載事項通知書」により調査書の記載内容を確認していただくことになっています。

※ 私立高校へ提出する「調査書」は、高校によって形式が異なります（入試要項を購入すると中に入っています）が、「都立用の調査書」・「私立高校統一様式の調査書」でよいとされている場合もあります。その場合の調査書は中学校で用意します。

評価・評定

- (1) 各学期の評価・評定については、4月の保護者会で配付した「評価・評定の付け方について」の通りの方法で行います。
- (2) 調査書に記載する成績は、第3学年の4月～12月の学習状況を総合的に評価・評定したものであり、12月31日現在で記載します（その成績を「内申」といいます。入試に関係する成績は基本的にこの「内申」となります）。なお、私立高校においては、1学年や2学年の成績を記載する調査書もあります。

資料② 自己PRカード

- 自己PRカードは、「推薦を受検する場合」または「1次募集／分割前期募集で面接を実施する学校を受検する場合」に、出願時に提出（第三中学校から高校に郵送）をします。
- 1次募集／分割前期募集での合格者（面接を実施する学校を除く）は、入学関係書類として後日提出します。

第一次募集・分割前期において、面接を実施しない都立高校を受検し、合格した者は、推薦入試において同じ高校を受検した際に「自己PRカード」を提出している場合でも、あらためて「自己PRカード」を作成して、指定された期日に提出することになります（コピー可）。志願変更した場合は、変更後の高校へ提出する「自己PRカード」を新しく作成する必要があります。

昨年度の 「自己PRカード」

今年度（R5年度入試）は、手書きだけでなく電子ファイルへの入力も可となりました（詳細はまだ通知がありません）。

(様式12) (A4判)

| | | | |
|------------------|-------------|------|-------------|
| 受検番号 | コース・科(分野)・部 | 受検番号 | コース・科(分野)・部 |
| 文化・スポーツ等 特別推薦 | | 一般推薦 | |
| | | 一般選抜 | |

自己PRカード

年 月 日

高等学校長 殿

_____ 立 _____ 中学校

氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考に記入しましょう。)

この欄は、各高校から出された「本校の期待する生徒の姿」をもとに記入します。この冊子は各クラスに閲覧用として配布します（東京都教育委員会のHPや各高校のHPにも掲載されます）。

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- (注意)
- 1 志願者が黒のペン又はボールペンで記入する。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないこと。
なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
 - 2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面接の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。

資料③ 都立入試選抜「総合得点」の出し方

《手順1》「調査書点（内申点）」の出し方

※2学期の5段階の評定を使います。学力検査が5科の場合と3科の場合で換算方法が異なります。

その1 かんさんないしん 換算内申を求める

5科受検の場合の換算内申

| | | | | | |
|---|---|---|---|--|-----------|
| [5科の評定合計×1倍] ----- (国数英社理) 25点満点 | + | [4科の評定合計×2倍] ----- (音美体技家) 40点満点 | = | | 65点 満点 |
|---|---|---|---|--|-----------|

3科受検の場合の換算内申

| | | | | | |
|---|---|---|---|--|-----------|
| [3科の評定合計×1倍] ----- (国数英) 15点満点 | + | [6科の評定合計×2倍] ----- (社理音美体技家) 60点満点 | = | | 75点 満点 |
|---|---|---|---|--|-----------|

(例) 三鷹太郎さんの場合

| | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保体 | 技家 | 英語 |
| 3 | 4 | 5 | 3 | 4 | 3 | 5 | 5 | 4 |

$$(3 + 4 + 5 + 3 + 4) + (4 + 3 + 5 + 5) \times 2 = 53$$

三鷹太郎さんの換算内申

その2 調査書点を求める

「その1 換算内申を求める」で出た「換算内申」を用い、各高校の「学力検査の得点」：「調査書点」の割合を確認し、調査書点を求める。

つまり、下記の通り調査書点は、7：3ならば300点満点、6：4なら400点満点。

5科受検（第一次募集・分割前期募集）の場合 〈学力検査点〉：〈調査書点〉＝7：3

学力検査点(700点満点) + 調査書点(300点満点) = ESAT-Jを除く総合得点(1000点満点)
1000点のうち3割が調査書点なので、換算内申65点満点が300点となります。

3科受検（第二次募集・分割後期募集）の場合 〈学力検査点〉：〈調査書点〉＝6：4

学力検査点(600点満点) + 調査書点(400点満点) = ESAT-Jを除く総合得点(1000点満点)
1000点のうち4割が調査書点なので、換算内申75点満点が300点となります。

(例) 三鷹太郎さんが、「神代高校(5教科、7：3)」を受験した場合

1000点満点のうち3割が調査書点なので、換算内申65点満点が300点となります。

すると三鷹太郎さんの換算内申は「53」なので

$$53 \div 65 \times 300 = 244$$

三鷹太郎さんの調査書点は244点となります。※小数点以下は切り捨てです。

手順1まとめ:「換算内申」を調査書点に換算する式

| 比率 | 調査書点の満点 | 5教科入試校 | 3教科入試校 |
|-----|---------|-------------|-------------|
| 7：3 | 300点 | 換算内申×300÷65 | 換算内申×300÷75 |
| 6：4 | 400点 | 換算内申×400÷65 | 換算内申×400÷75 |

《手順2》「学力検査点（入試得点）」の出し方

5科受検（第一次募集・分割前期募集）の場合（学力検査点）：（調査書点）＝7：3

学力検査点(700点満点) + 調査書点(300点満点) = ESAT-Jを除く総合得点(1000点満点)
1000点満点のうち7割が学力検査点なので、学力検査500点満点が700点となります。

3科受検（第二次募集・分割後期募集）の場合（学力検査点）：（調査書点）＝6：4

学力検査点(600点満点) + 調査書点(400点満点) = ESAT-Jを除く総合得点(1000点満点)
1000点満点のうち6割が学力検査点なので、学力検査300点満点が600点となります。

(例) 三鷹太郎さんが神代高校（5教科、7：3）を受検した場合

1000点満点のうち7割が学力検査の得点なので、得点500点満点が700点となります。

すると、学力検査の得点が320点だった場合

$$\lfloor 320 \div 500 \times 700 = 448 \rfloor$$

三鷹太郎さんの学力検査の得点は448点となります。※小数点以下は切り捨てです。

手順2まとめ:「500点満点の学力検査点」を「700点満点に換算する式

| 比率 | 得点の満点 | 5教科入試校 | 3教科入試校 |
|-----|-------|---------------|---------------|
| 7：3 | 700点 | 学力検査点×700÷500 | 学力検査点×700÷300 |
| 6：4 | 600点 | 学力検査点×600÷500 | 学力検査点×600÷300 |

《手順3》「総合得点（調査書点＋学力検査点＋ESAT-Jの得点）」の出し方

5教科受検（第一次募集・分割前期募集）の場合（学力検査点）：（調査書点）＝7：3

学力検査点(700点満点) + 調査書点(300点満点) + ESAT-Jの得点(20点満点) = 総合得点(1020点満点)

$$\boxed{} \times 700 \div 500 + \boxed{} \times 300 \div 65 + \boxed{} = \boxed{}$$

3教科受検（分割後期募集・第二次募集）の場合（学力検査点）：（調査書点）＝6：4

学力検査点(600点満点) + 調査書点(400点満点) = 総合得点(1000点満点)

$$\boxed{} \times 600 \div 300 + \boxed{} \times 400 \div 75 = \boxed{}$$

(例) 三鷹太郎さんの総合得点は $244 + 448 + 12$ (ESAT-JがCランクだったと仮定) = 704

※ESAT-J結果の得点化に関してはp.14 「東京都中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) の都立入試への活用」を参照してください。

※実技検査、特別選考などを実施する学校では、この704点にそれら実技検査等の得点も加算されます。

※「自己PRカード」は点数化されません。



～三年生全員が笑顔で三中を巣立っていけますように～

生徒たちが自分の選んだ進路に自信と誇りをもって巣立って
いけますよう、教員全員で精一杯サポートしていきます。

全員の進路が決まるまで、保護者の皆様も三年
生全員をあたたく見守ってくださいますようお
願い申し上げます。



三鷹市立第三中学校 教職員一同

第三中学校 進路決定までのスケジュール（令和5年度入試）

| | おもな予定 | 進路希望調査 |
|-----|--|---|
| 10月 | <p>第2回進路説明会（10/17）</p> <p>①学校説明会に参加、教育方針や入試制度を調べる</p> <p>③第2回三者面談（10/24～10/28） 【内容】 本人の志望校は具体的にどの高校か、どのような業種か確認。その志望が本人にあっていいるかどうか。また、合格の可能性を検討。推薦制度の利用希望について。第二第三志望について。</p> | <p>②第3回進路希望調査（10/19締め切り）</p> <p>【主な調査項目】</p> <p>上級学校進学希望</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 第1～5希望校 <input type="checkbox"/> 全日制・定時制・通信制（科・コース） <input type="checkbox"/> 推薦・併願・一般 <input type="checkbox"/> 見学の有無 <p>就職希望</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 第1～2希望事業所名 <input type="checkbox"/> 職種内容、見学の有無 |
| 11月 | <p>④第4回実力テスト（11/18）</p> <p>⑥「進路用個人資料」提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 諸活動の記録に記載してほしい事項の調査・確認 <input type="checkbox"/> 調査書等に記載の氏名・生年月日・住所の確認 <input type="checkbox"/> 取得した資格・検定のコピー <p>⑦面接練習【希望者】（11～1月）</p> | <p>⑤第4回進路希望調査（11/21 最終回・決定版となります）</p> <p>【主な調査項目】</p> <p>上級学校進学希望</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 第1～5希望校 <input type="checkbox"/> 全日制・定時制・通信制（科・コース） <input type="checkbox"/> 推薦・併願・一般 など <p>就職希望</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 第1～2希望事業所名 <input type="checkbox"/> 職種内容、見学の有無 |
| 12月 | <p>⑧第3回三者面談（11/29～12/5） 【内容】 受験校を確定します。 都立推薦受験の希望の有無の決定 私立推薦受験の希望の有無の決定 → 希望の場合は、基準に適合するかの確認 私立併願優遇の希望の有無の決定 → 希望の場合は、基準に適合するかの確認</p> <p>⑨「調査書作成願い」「推薦制度依頼書（利用する場合）」の提出</p> <p>⑩都立高校受験用の個人情報のネット登録（12/20～）</p> <p>⑪私立高校の出願書類を全て用意 ※都立高校は書類（調査書・推薦書・自己PRカード・考査料納付書等）は第三中学校で配布。ただし一部の都立高校は各自高校に取りに行く必要あり。</p> <p>⑫冬休み中に「自己PRカード」を作成（都立推薦受検者）</p> | <p>12/15～ 私立高入試相談</p> |

| | おもな予定 | 都立 | 私立 |
|----|--|---|---|
| 1月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑫都立・私立高校入試の出願</p> <p>⑬入学試験</p> <p>⑭発表 →結果によって 別の出願・入試へ ※日程に余裕がない 場合が多いです!</p> <p>⑮手続 (必ず期限内に)</p> </div> | <p>【推薦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願：12/20火～1/18水 ・検査：1/26木 ・発表：2/2木 ・手続：2/2木～2/3金 | <p>【推薦】学校によって違う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願：1/15(日)～ ・入試：1/22(日)～ →発表・手続 <p>【一般】学校によって違う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願：1/25水 <p style="text-align: center;">↓</p> |
| 2月 | | <p>【一般（一次募集・分割前期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願：12/20火～2/7火 ・取下げ：2/13月 ・再提出：2/14火 ・検査：2/21火 <p style="text-align: center;">↓</p> | <p>【一般】学校によって違う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試：2/10金～ →発表・手続 |
| 3月 | | <p>【一般（一次募集・分割前期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表：3/1水 ・手続：3/1水～3/2木 <p>【一般（二次募集・分割後期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願：3/6月 ・取下げ：3/7火 ・再提出：3/8水 ・検査等：3/9木～ ・発表：3/15水 ・手続：3/15水～3/16木 <p>【定時制二次募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願：3/22水 ・取下げ：3/23木 ・再提出：3/24金 ・検査等：3/27月 ・発表：3/28火 ・手続：3/28火～3/29水 | <p>※私立高校にも二次募集（場合によっては3次募集）を行う学校があります。ただし、募集人員に満たなければ行わない、ということになるので、現時点でどの学校から二次募集が出るかはわかりません。</p> |

- 学校からのお知らせ、配付物は必ずご確認ください。
- 進路に関わる書類に関しては、必ず「連絡袋」に入れて提出ください（11月初旬配布）。
- ご不明点はいつでもお問い合わせください。